

# 令和3年度第1回瑞穂町商工業振興推進協議会会議録

日時 令和3年5月18日(火) 午後6時30分から午後8時30分まで

場所 瑞穂町役場4階 委員会室

## 出席者

【会長】 松本 祐一

【副会長】 高水 英夫

【委員】 岡本 日吉、石原 浩一郎、布田 徳雄、佐藤 雅夫、中村 博隆、  
海和 将也、江川 淳一

傍聴者 なし

配布資料 資料1 瑞穂町商工業振興推進協議会諮問事項について  
資料2-① 瑞穂町産業振興ビジョン及び工業振興計画について  
資料2-② 瑞穂町産業振興ビジョン及び工業振興計画改定スケジュール  
資料3-① 瑞穂町の産業振興に関する事業所アンケート調査  
資料3-② 瑞穂町の産業振興に関する町民アンケート調査  
資料4 瑞穂町産業振興ビジョン・瑞穂町工業振興計画に係る調査票  
その他配布資料  
瑞穂町商工業振興推進協議会委員名簿  
瑞穂町第5次長期総合計画  
瑞穂町都市計画マスタープラン  
瑞穂町都市計画マスタープラン概要版

## 会議内容

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 委嘱状交付

## 4 自己紹介

## 5 議題

### (1) 会長・副会長の選出について

事務局 会長・副会長の選出ですが、瑞穂町商工業振興推進協議会条例第5条に、会長・副会長は委員の互選により定めるとありますが、いかがいたしましょうか。

高水委員 会長には産業振興に関する知識や経験が豊富であり、前回の計画策定に関わられ町の状況も熟知していらっしゃる松本先生を推薦したいと思いますがいかがでしょうか。

(異議なし)

事務局 副会長についてはいかがいたしましょうか。

布田委員 副会長には町の振興・発展のため様々な経営支援を実施し、町内事業者の相談窓口となっいらっしゃる瑞穂町商工会会長の高水委員を推薦いたします。

(異議なし)

事務局 会長に松本委員、副会長に高水委員が推薦されました。松本委員、会長をお引き受けいただけますでしょうか。

松本委員 はい。お引き受けいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、松本委員に会長をお願いいたします。次に高水委員、副会長をお引き受けいただけますでしょうか。

高水委員 はい。お引き受けいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、高水委員に副会長をお願いいたします。それでは、会長・副会長よりご挨拶をお願いいたします。

松本会長 多摩大学の松本でございます。よろしくお願いたします。8年前の産業振興ビジョン・工業振興計画の策定に関わらせていただきました。その際には調査の方にも関わり、皆さんにインタビューをさせて

いただいたり、お祭りに参加したり、地域の方々と瑞穂町がどのような町なのかを体感しながら作った計画でありました。私にとっても非常に良い経験で、勉強をさせていただきました。その中で、瑞穂町の素晴らしさ、ポテンシャルを感じており、また関わらせていただけるのを大変嬉しく思っております。貢献できればと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

高水副会長 高水でございます。商工会にとって、大変重要な協議会だと感じております。瑞穂町には約1,600の事業所がありますので、それらの会社の力添えになれる協議会になればと思っております。社会情勢も変化してきており、その中での商工会の発展と瑞穂町の発展に協力できればと思っております。私はいつも瑞穂町を一人前の町にするにはどうすればいいかということ念頭において活動をしているので、ぜひそういった考えのもとで瑞穂町の産業の発展を応援していきたいと思っておりますので、皆さんと手を取り合って頑張っていきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

## (2) 産業振興ビジョン及び工業振興計画について(諮問)

事務局 それでは、産業振興ビジョン及び工業振興計画について(諮問)を議題といたします。杉浦町長から松本会長に諮問書を朗読の後、お渡しいただきます。

(杉浦町長諮問書を朗読)

(松本会長諮問書を受領)

ここで、杉浦町長は退席いたします。それでは、ここからは松本会長に議事を進めていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

## (3) 産業振興ビジョン及び工業振興計画の改定について

松本会長 早速ですが(3)産業振興ビジョン及び工業振興計画の改定について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 資料2-①、②について説明

松本会長 ありがとうございます。今の説明は今回の産業振興ビジョン及び工業振興計画が上位計画である長期総合計画などと連動する形で考えていかななくてはならないという説明でしたが、改定について質問等あればお願いします。

石原委員 今回の計画は以前松本会長が関わられた産業振興ビジョンが参考になってくると思います。開けた未来に関しては夢がありいいかと思えます。前回策定した際も未来を想定して策定されたと思いますが、8年経過し、計画されたものがどこまで実行されたのか、実行できなかったものはあるのか、その原因は何だったのか、前に戻って振り返った上で先に進めていかないとまた同じことの繰り返しになってしまうと思います。説明のあった改定スケジュールによると、8月が産業振興ビジョン及び工業振興計画の方向性についてと書いてあるのでその際に報告があるのかはわからないが、いずれにしろ過去の計画について進捗がどうだったのか、何がいけなかったのか等をどこかの段階で報告していただきたいと思えます。先ほど将来のビジョンの概要についてはお話いただいたが、過去の反省点を教えていただけると今後の参考になるのかと思うので、お願いしたいと思えます。

松本会長 ありがとうございます。おっしゃる通りです。過去の計画をきちんと検証しないと同じことの繰り返しになってしまうし、私も皆さんからこの8年間に瑞穂町の産業がどのように変わったのかをお聞かせいただきたい。そして、それを反映していかないとまたゼロから作る事になってしまうと思う。これまでの計画に関する検証はこのプロセスの中ではどのようになっているのでしょうか。

事務局 現計画の振り返りに関しましては、次回8月の協議会にて実施したいと考えております。本計画につきましては実行可能な計画を作りたいと思っておりますので、合わせてご報告させていただきます。

松本会長 他にはいかがでしょうか。

岡本委員 前回は参加させていただいたため、進捗状況を何らかの形で検証しなくてはならないとは思っています。検証がしやすいような内容にして欲しいと思えます。

松本会長 そうですね。次の計画を見直す際に検証できるような内容にしていかないとまたゼロからということになってしまうのでおっしゃる通りかと思えます。

中村委員 この会には初めて参加するのですが、他の会議には参加しており、感じていることがあるので提案させていただきたい。総合計画やマスタープランは常に未来志向で書かれている。私は瑞穂町に住み38年になるが、この町の文化や風土やこの町で生活している人の価値観の良さが地域の生活文化に根付いていると感じている。瑞穂町は東京都の大いなる田舎であるということの一つの新しいコンセプトとして生かせるのではないかと私は思っているのですが、計画の中にはそれがほとんどない。計画では将来や、現状から予測される未来を描くが、実際に生活している人は何代にもわたり生活をしてきており、事業をされている方、農業をされている方、サービス業をされている方は世代を継承して同じスタイルで生活し続けている。スタイルを大きく変えずにやってきている所に瑞穂町の生きている文化があって、そこに商品価値として打ち出している部分がたくさんあると思っている。そういった所を丁寧に掘り下げ、新しい価値観とうまく融合させていく動きが必要なのではないかと思っています。

松本会長 ありがとうございます。先ほど町長のお話にもあったが、今後世代交代、事業承継について特に産業面で考えなければならないと思えます。工業、商業での事業承継や世代交代の現状はどうなのでしょう。

布田委員 商業関係は壊滅的です。瑞穂町は住民にとっては大型店もあり、車が運転できればとても住みやすい。インターネットでの通信販売などもあり既存の商店街がなくても十分生活しやすくなっている。それに対して8年前の「瑞穂町産業振興ビジョン」にてマイスターを作るというコンセプトを打ち出したが、それは全く進んでいません。いいアイデアではあるのですが、実行されていないのが現状です。実行できるようなアイデアをあげていかなくはないかと思っています。

松本会長 みずほブランドは続いていますか。

布田委員 少しだが、裾野は広がっています。

佐藤委員 まずこの会議の目的について確認したいのですが、瑞穂町産業振興ビジョンを新しく立ち上げるということではなく、あくまでも前回の改定という視点なのでしょうか。前回は農業・商業・工業3つの産業に元々なかった観光業を加え、産業の柱に位置付けるということで策定したが、そのビジョンを継続するという考えで話を進めていけばよろしいでしょうか。

松本会長 重要なお指摘だと思います。確認が必要かと思えます。その点に関しては事務局に確認をしますが、まずは改定であるということについてはいかがでしょうか。

事務局 伝わりづらいかと思えますが、改定であります。ただ、前回から期間が経ち、時代も変化してきているということで、検証していく中で前の施策が時代に即していないものもあるかと思えます。一新するというよりは、良いものは残していくという形になります。

松本会長 ありがとうございます。前回の策定時には、農業・商業・工業とバラバラなものを統一していこうと考えた時にそれらを繋げるのが観光業だという流れで観光を強化しました。現在のコロナ禍において観光業をどう考えていけばいいのか、人をたくさん呼ぶのがいいのか、先ほど中村委員のご意見にあったように地場の文化や暮らしを崩してまで観光業を増やしていくのがいいのか、議論が必要かと思えます。前回の計画をベースに考えていけばいいのではないかと思えますが、今の事務局からの答弁からすると前提を変えていけないということではないかと思うので、改定ということを入りながらも、前提が変わってしまったものがあるのであれば、そこは勇気を持って変えていく。先ほど出たマイスターのように結果が出ていないものについてはやるべきではないという部分もあるのではないかと思うので、前回のものに縛られず考え直してもいいのかと思う。

ほかにはいかがでしょうか。

江川委員 長く瑞穂町で生活をしていますが、先ほどのご意見にあったように古い文化を大切にしているところは確かにあるかと思えます。こういったものを大切にしながら新しいものを取り入れて住みやすい街を作っ

ていくことは大切だと思います。前回の計画にも素晴らしい提案があります。作ったものを実現につなげられるようにするのがこの協議会の大切なところかと思うので、一生懸命勤めさせていただきたいと思っています。

佐藤委員　ここで聞くべきかわかりませんが、前回、観光業を産業の中心にする  
と決めて8年が経過しました。町として担当課ができていない状況だ  
が、それは恣意的な原因なのか。そこまで記載して策定した計画があ  
るのに、担当の部署が役場にできない体制であるとする、諮問機関  
で諮問した意味について問い直すべきかと思う。そのあたりの行政の  
対応はどうお考えになっているのか教えていただきたい。

松本会長　手厳しいご意見でしたがいかがでしょうか。

佐藤委員　行政を責めているわけではない。担当を作らないと他の仕事が忙しい  
中で観光まで進めていけないということになってしまうと思う。その  
あたりのスタンスをきちんとしてあげないと、諮問にかけても進まな  
いということになってしまう。実際に観光を担当する人は表立っては  
存在しないのにビジョンには観光に関することが多く書いてある。そ  
ういったミスマッチングがあると諮問のかけ方もそれに合わせないと  
いけないのではないかと思う。

事務局　以前から観光の係などいろいろな係を作ってもらいたいというご意見  
は伺っているが、現実的に職員の人的資源が確保できるかがネック  
となっていると思います。他の市を見ると観光課ではないが、例えば  
シティープロモーションというのをやっているところもある。ここで  
観光課を作るなどの明言はできませんが、町をPRする流れとしては  
あります。観光係を作るかどうかという部分と今回の産業振興ビジョ  
ンを作る上で町に係を作って欲しいという部分がイコールになるのか  
どうかは、切り離して考えなくてはいけないところです。

佐藤委員　個人的には観光が全てではないと思っている。ただ、観光でやると決  
めたのであれば皆でそれに向けて邁進する必要がある。専属するのは  
誰かを決めないといけないと思う。前回の計画が実行されていないと  
いうのも、人と場所を選定しない限りは進まないというのが実感だ。

小さい3万人の町で個人名が上がらないと計画は進まないと思います。

松本会長 ぜひ高水委員に伺いたいのですが、この数年の商工業の状況をどう見ていらっしゃるでしょうか。

高水副会長 商工業の中でも商業については皆さん厳しい状況かと思えます。ショッピングセンターは殿ヶ谷地区と元狭山地区に大型商業施設などがあり、住民の皆さんはそちらに目を向けてしまっているのが、商業をされている方は大変な思いをされている。逆にそういった商業施設を瑞穂町が中心となってもうまく利用することを考えてはどうかと思えます。そうでなければ瑞穂町の商業が後継者を作るどころか衰退の一途をたどるのではないかと心配している。瑞穂町は商工会も一生懸命頑張っており、人口32,000人の町で1,600の企業をかかえている町はどこにもないと思えます。それを町としてもうまく利用し、手を取り合っけて瑞穂町の発展につなげていくべきだと思う。工業でもすばらしい会社が多くあるので、瑞穂町の発展のために手を組んでいくべきではないかと思っています。

松本会長 ありがとうございます。海和委員いかがでしょうか。

海和委員 やはり、商業は厳しい状況にあります。前は創業支援の話が多かったかと思うが、5年前あたりからは事業承継、後継者対策の話が多く出てきています。瑞穂町は製造業については最先端の技術を持っている企業も多くあるので、事業承継もうまくいっているのだが、商業に関してはご苦労をされてきた経営者の方が多く、自分のお店を継がせたいという声は少ないのが現状です。前回のビジョンを生かし、一度見直しをして進めてはどうかと思っています。モノレールの延伸はいいきっかけになるのではないかと思っています。いろいろ検証した後に魅力ある瑞穂町にしていける計画をこの協議会で作っていければと思っています。10年後の目指す姿のところにも書かれているように、若い人が瑞穂町に住みたい、働きたいと思うようにできたらいいと思います。

松本会長 皆さんからご意見をいただき感じるの、観光業の方向性も含め、前回のビジョンをきちんと検証していかななくてはいけないということで



す。その上でどういったビジョンを描くかということになるかと思うが、夢を描くということに対してどうだろうかというご意見もありましたし、他の自治体の計画を見ても難しいのは、策定したものをどう動かしていくのか。私のように外から来たものが策定に関わっても実行するのは瑞穂町の皆さんなので、行政ができないものを考えてもしょうがない。いろいろ世の中の大きな変化もあるので、将来を見据えてということも必要にはなると思うが、ある程度現実的にできるもの、そして、最終的に検証できるものに落とし込んでいかないと同じことの繰り返しになってしまうと思います。今回はコンサルタントの方が案を作られるとは思いますが、我々ができるのはこの8年間をきちんと検証するという事になってくると思います。次回の8月の協議会の際にはきっちりできるように事務局に資料をお願いしたいと思っています。

#### (4) 事業者アンケート・住民アンケートについて

松本会長 事業者アンケート・住民アンケートについて、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 資料3-①、②について説明

松本会長 ありがとうございます。2つの調査について質問等ございますか。

中村委員 2点あります。アンケート結果を誰が利用するかは明白かとは思いますが、アンケート回答者がアンケート結果に求める内容を把握していないのではないかと感じます。例えば製造業でいうと、瑞穂町で製造業を担っている方々は、町内の事業所にどんな技術があり、どんな商品があり、協業ができるのか、あるいは新しい仕事を提供できるのか、そういった情報を知りたがっているはずだが、このアンケート調査の結果からはそういった情報は得られないのではないかと感じる。回答する事業所自身が回答するメリットを感じられるか、そのあたりを考えてアンケートを作られているのかをお聞きしたい。次にDX(デジタルトランスフォーメーション)について、全事業所の方が行政とデジタル通信をすることを望んでいるのかどうかがよくわからない。望んでいるとすれば、どういったデジタル通信とスピードアップを希望して

いるのか。そのような点もアンケートにて具体的に質問して、ニーズを捉えた方がいいのではないかと思います

松本会長 最初の質問についてですが、アンケートの回答結果を事業所の方で使えた方がいいのではないかと思いますというご意見でしょうか。

中村委員 アンケートをする主体者の目的や意志によって質問内容が変わるのは当然なのだが、回答する人が求めている情報は違うところにあり、その情報がニーズに合っていれば使いたいと思っているはずだ。難しいが、そういった期待感に答えられるアンケート調査であるべきなのではないかと思う。

松本会長 ご意見いただいた2点について、1点目は今回のアンケート調査の目的について。今回のビジョンを策定するにあたり、現在の事業所の実態を把握しなくてはいけないということが目的なのかと思う。中村委員のご発言にあったお互いにどのようなニーズを持っているか、相手がどのようなニーズを持っているかなどの情報は実際にデータとしてあるのでしょうか。

岡本委員 工業でいいますと、商工会加入者であればサービスも受けられ、情報も持っていらっしゃるかと思います。ただ、全員が加入されているわけではないので、加入されていない方にどうやって情報を伝えていくかというのは今のところ検討されていない状況。工業だけで言えば、ある程度情報は発信できていると思います。

松本会長 お互いの情報のやり取りがもっと増えれば中村委員がおっしゃっていたようなことがもう少し進むのかと思いますし、そういった内容はビジョンの中に入れていく必要があるのかと思います。

中村委員 大枠で見たら情報が共有されていないのではないかと思います。ビジネスチャンスはたくさんあるのに情報が埋もれていて使えないということが瑞穂町に起きているのであれば、そのあたりの改革は必要なのではないかと思います。

松本会長 2点目の通信についてですが、事業所のニーズを聞いていくのは必要かと思います。今回調査票にはDXやリモートワークについてなど今

の時代だからこその項目も入っていて、その点はいいのではないかと  
思いました。

中村委員 事業所アンケート調査の間15「貴事務所のDX(デジタルトランスフォー  
メーション)対応における課題について。あてはまるものをすべて選  
んで下さい」について、現在、事業者が行政と事務手続きをするのに  
時間がかかっているということでデジタル化したいという具体的なニ  
ーズを書かせた方がわかりやすいのではないのでしょうか。

佐藤委員 中村委員のご意見はDXを進めたいというのが大前提となっ  
ているが、間15ではそうではなく、DXについて皆さんがどう考えていら  
っしゃるかをまずお聞きする設問だと思う。その結果、デジタル化を望  
むのであればさらなる諮問を求めればいいのではないのでしょうか。今  
の段階では皆さんが興味を持っているのか、必要としているのかとい  
うことを聞いているところなのかと思う。

松本会長 調査の手法の限界というものもあり、アンケート調査は傾向を掴むと  
いう目的で、個別の詳細な部分までは聞けないものと思います。今後  
ヒアリングも実施されるようですので、その際に具体的なニーズが聞  
けるかと思う。アンケート調査ではすでに予想できていることを検証  
するという意味合いが強く、全く新しいニーズや新しい課題などはヒ  
アリングなどの中から見えてくるものであり、それぞれをうまく併用  
して進めていくといいのではないかと思います。関係団体ヒアリング  
というのが次の項目にありますので、説明を聞いた上で質疑いただき  
たいと思います。

#### (5) 関係団体ヒアリングについて

松本会長 関係団体ヒアリングについて、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 資料4について説明

松本会長 まずはこちらにご記入いただき、訪問して実際に話をうかがうとい  
う形式ということでした。おそらく皆さんの所にも依頼があると思いま  
すので、内容についてご意見ありますでしょうか。

- 佐藤委員 商業の代表として、書きづらさはある。うまく説明ができないので、聞き取りの方がいいのかと思う。
- 松本会長 確かに質問が大枠なので、視点によって書き方が変わってしまうのではないかと思います。
- 佐藤委員 一言二言で終わる内容が多いが、実はその内容がとても複雑だったりする。もともと商売というのは基本的には隙間に入りいろいろなことをしますので、一概に一言では語れない。業種によって立ち位置も違うので、聞き取りをしていただく方がいいと思います。
- 事務局 必ず細やかに記載してくださいというものではなく、こういった内容を尋ねるといった内容だけでも書いていただければありがたいかと思えます。キーワードとして書いていただき、ヒアリングの際にニュアンスを補足いただければと思います。よろしくお願いたします。
- 松本会長 会話のきっかけのようなものとして、キーワードだけでも書いていただくとスムーズにヒアリングが進むということなのかと思います。
- 海和委員 質問ですが、この協議会は何度か開催されると思いますが、協議会の課題、審議された内容、質問、回答は議事録にて町のホームページで公開されるかと考えてよろしいですか。
- 事務局 議事録に関しては町のホームページにて掲載する予定です。
- 松本会長 他にありますか。
- 岡本委員 ヒアリングをされるのはどなたか。ヒアリングは1回のみなのか、またディスカッションできる内容がそこに含まれるのかをお聞きしたい。
- 松本会長 ヒアリングの形式と体制について、いかがでしょうか。
- 事務局 ヒアリングに関しては、町役場の職員とコンサルと一緒に伺う予定です。回数に関しては1回を予定しています。今後6月から7月にかけてヒアリングを行うというお話をさせていただきましたが、各団体と日程調整をし、実施する予定です。
- 松本会長 それに関してご意見はありますか。

岡本委員 例えば私の工業の分野では、代表がヒアリングに参加したとしても1回では収まらないこともある。工業にもいろいろな業種があるのでそれによっても回答が変わってくる。それぞれの方から意見が聞けるのかどうかということになってくると思います。

松本会長 おそらく1回だけでは全体像をつかむのは難しいと思います。また、回答者によって意見が偏る可能性もあるということかと思えます。今回のアンケートは全体像をつかむということだが、ヒアリングについては今回のビジョンを作るにあたり、どのような役割があると事務局では考えていらっしゃいますか。

事務局 アンケートは量的な把握、全体の傾向という把握になるが、ヒアリングについては生の声、現場感を把握させていただききたい。現場感からも計画の状況についてお伺いできればと思っております。実施方法について付け加えさせていただきますと、対象には商工会の各部会の方々も入れさせていただいています。部会の方それぞれお一人だけでなく、数名お入りいただくことも可能ですので、それぞれの立場でお話を伺えるのではないかと考えています。ただ、10数人になってしまうと一問一答のような形になってしまいますので、ディスカッションという形式が取りづらいかと思えますが、数名程度であれば対応できるかと思えます。

岡本委員 具体的に言いますと、ある程度の人数で集まるとすると、どこで実施をするのか。例えば我々は毎月役員会を行っているが、その際に時間をとって行うなどの形式が取れるのか、あるいはどこかの場所に出向いて行うのか、それによっても参加するメンバーが変わってくる。事務局の方々の時間の制約もあるかと思えますが、商工会側も営業しているのもそれぞれ時間の制約がある。双方がうまく立ち回れる時間と場所を設定していく必要があるかと思うので、相談しながらやっていきたい。

松本会長 ヒアリングというと回答者から情報を引き出すという形式になるかと思うが、岡本委員のご意見のように、いろいろな人が参加をし議論をしてお互いにやり取りをする中で新しいアイデアが生まれてきたり、ニーズが出てくることもあると思うので、議論できる場を設定してもいいのではないかと感じました。

岡本委員 アンケートの内容もそうですが、事務局の把握したいことは捨てるかもしれないが、それを使ってどうしたいのかという事業者の総意などに結び付くようなアンケートの内容にはなっていないので、それがヒアリングの場で生まれてくるということが考えられるのかと思う。

石原委員 実際、アンケートを1600社に出して、回収率はどのくらいだったのでしょうか。このような会議に出て発言する人はするが、サイレントマジョリティーで、大多数の方は黙認している。岡本委員の発言は理想的で、広く意見を集めてそれを集約して形にできるのがベストだが、現実問題としてそれを1年間で到底できる話ではない。前回はどうかはわからないが、理想を追いかけると現実とのギャップが生まれ、結果的に理想を報告書としてまとめても現実とは乖離していることになる。しかしそれを報告書に書いてしまうと誰も何もやらなくなってしまふ。多少なりとも夢や理想がないといけませんが、その際に結局は声をあげる人の意見だけが集約される形でしかない。

松本会長 だからこそ、ある程度こういった会議で役員をされている方に代弁をしていただくという形式をとっている。全体を見て、ある程度把握されている方たちが役員として会議に参加していらっしゃるかと思うので、そういった方たちにご意見を聞くことで理解できるという認識かと思う。ただ、おっしゃる通り、新しい動きや、小さいけれど可能性のある動きが見つかるかというのかと思いますので、皆さんからも情報提供していただきたいと思います。例えば「この企業すごく面白いよ」「この企業頑張っていて伸びてきているよ」など厳しいながらも頑張っている人たちをピックアップしてあげることでヒントを得られることもあるのではないかと思います。ある意味平均的な意見を取り入れるということと、少し尖ったことや少し今までとは違う動きを捉えることで、現実の中でも希望の光である部分をビジョンに入れていくためにご意見をいただけるのであれば意味があるのではないかと思います。逆に皆さんからヒアリング先等のアドバイスをいただければ、柔軟にやれるのではないかと思います。

佐藤委員 商業部として。アンケートの答えというのはほぼ決まっております、いつも通りの答えが返ってくることが多い。商業として、残念ながら主役は一般の小売店ではなく、世の中全体の流れとしてもコンビニエンス

ストアや大型店舗に確定している。ありがたいことにこういった会議では私たち零細企業を取り扱っていただいているが、可能であればコンビニエンスストア、大型店舗、大きい食事処など町に対する意識調査をヒアリングで聞いていただくとありがたい。実際商売の主役がそちらに移っているのに意見を取り入れないのはおかしいと思う。難しいとは思いますが、大型店舗側の意識調査をしていただけるとありがたい。

松本会長 それは知りたいと思います。他にありますか。

海和委員 たくさんのテーマがあり、いつまでに何をやるか、それがアウトプットされているかというのが望まれている共通の認識かと思う。そのためには具体的なタイムスケジュールを作成し、実現できるものから事務事業計画にして予算編成をして議会の承認をもらってスタートしていかなければいけない。いろいろ目標に掲げてもモチベーションにならず、計画は進まない。諮問はするが結果を見届けられないというのはとてもフラストレーションのたまる状況だ。しっかりと計画に落とし込んでいただきたいと思います。

松本会長 ありがとうございます。本日初めての会議で皆さんのご意見を伺い、共通しているのは前回の反省も踏まえ、検証をして現実的な実現できる計画を作ろうということだと思いました。全てをこの場で決めることはできないかとは思いますが、それを意識した計画にしていくということはあるかと思しますので、その意識を持って、この会議を進めていきたいと思えます。他によろしいでしょうか。本日本日予定していた議題は終わりました。

事務局 (次回の日程等の説明)

## 6 閉会

松本会長 以上をもちまして、第1回瑞穂町商工業振興推進協議会を終了いたします。ありがとうございました。